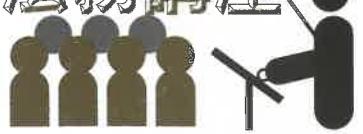


# 中小企業のための 法務講座



## 仲裁について

民事訴訟、特に商業紛争において、正式な裁判以外の解決方法として、仲裁、調停、和解、別途の合意書／契約書などのさまざまなお方法があります。今回は、「仲裁」にフォーカスしたいと思います。

正式な裁判と異なり、仲裁はさまざまな手順が考えられます。多くのコモディティー（貴金属やエネルギーなど）の商品紛争の中で、正式な主張や書類展示が要らない一方、複雑な案件の場合、仲裁の手順は正

香港は2011年6月1日から新しい仲裁条例（仲裁条例、香港法律、第69章）が実施され、それにより、従来の仲裁条例（1963年7月5日、香港法律、第341章）がその日本から新仲裁条例に交替することになりました。

## 香港仲裁の現状

式な裁半と変わらないよ  
うな徹底的な主張、主張修正、  
書類提示などの手順が必要  
となります。

的は、旧仲裁条例の上に  
に分けられた「国内仲  
裁（香港境域以内）」と「国  
際仲裁」を統一する目的が  
あります。結果的には、香港  
仲裁も国際仲裁も同じの  
国連のModel Law  
UNCITRAL（国際仲

- ケースバイ・  
が、仲裁は以下  
があるかもしだ  
・スピード  
・経済的  
・プライバシー  
・非公式

## 仲裁の性質や実能

柔軟で素早く解決するのは不可能です。また、裁判官と裁判所の費用は納税者により賄われ、ほぼ「ただ」である一方、仲裁の場合、仲裁人と仲裁を行う場所の費用がかかりますので、裁判より高くつきます。

・仲裁廷の裁判は国内においても、国際においても、必ず争いの原因と思われる、裁判手続

(「J」シリーズは月1回掲載します)

筆者紹介

ANDY CHENG  
弁護士 アンディ チェン 法律事務所代表  
米系法律事務所から独立し開業。企業向けの  
法律相談・契約書作成を得意としている。香港  
大学法律学科卒業、慶應義塾大学へ留学後  
在香港日本国総領事館勤務の経験もありジ  
トロ相談員も務めている。日本語堪能  
[www.andysolicitor.com](http://www.andysolicitor.com)  
info@andysolicitor.com



裁はさまざまな手順が考えられます。多くのコモディティー（貴金属や工ネルギーなどの商品紛争の中で、正式な主張や書類展示が要らない一方、複雑な案件の場合、仲裁の手順は正裁条例、香港法律、第6章）が実施され、それにより、従来の仲裁条例（1963年7月5日、香港法律、第341章）がそのまま引き継がれ、新仲裁条例に交替するようになりました。

(モ) デル法) とより緊密につながり、国際仲裁解決地として促進され、香港裁判所からの干渉も最低限まで制限することができるようになりました。

しかし、簡単な賃貸契約に関するトラブルから非常に複雑な建築争いなど、仲裁は幅広い紛争の中で採用されるプロセスです。そのため、簡単な案件の場合、上記のようなメリットがありますが、複雑な案件の場合、上記のメリットがなくなり、裁判所と変わらない手順がそのまま採用されま

その合意は明白には有効です。つまり、いつたん両者が契約書で仲裁を選んだら、片方は勝手に紛争を裁判所に持ち込むことができるません。

・仲裁の準拠法（香港法、日本法、中国法）や仲裁地（香港、シンガポール、日本など）は契約当事者の合意により決めます。

・仲裁廷の裁定（award）は、ほとんどはファイナ

書面である必要がないのです。  
・仲裁人は、一般的には、  
1人あるいは3人となります。  
1人の場合は両方と関  
係ない人を選びます。3人  
の場合は、契約書当事者そ  
れぞれ1人と、もう一人は  
両者と関係ない「中立者」  
を選びます。  
・私の経験から見ると、一  
般的には、別途で仲裁合意  
書を結ぶのはそれほど多く

A circular portrait of Andy Cheng, a middle-aged man with short dark hair, wearing a white shirt and a dark tie. He is smiling at the camera.

ありません。少なくとも、  
契約書で一言を入れれば、  
仲裁地の該当の仲裁ルール  
は補完するでしょう。

個別のケースで、どこの  
準拠法、裁判や仲裁が望ま  
しいかは、専門家に相談す  
ることをお勧めします。